

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 4 年 3 月 25 日(2022.3.25)

【公開番号】特開 2021-58454(P2021-58454A)

【公開日】令和 3 年 4 月 15 日(2021.4.15)

【年通号数】公開・登録公報 2021-018

【出願番号】特願 2019-185204(P2019-185204)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 5/04 6 5 2

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 3 月 16 日(2022.3.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【請求項 1】

リールを有し、

スタートスイッチを有し、

ストップスイッチを有し、

ストップスイッチの有利な操作態様を報知可能な所定の表示部を有し、

第 1 レジスタバンクと第 2 レジスタバンクとを有し、

ROM 領域として、第 1 領域と第 2 領域とを有し、

第 1 レジスタバンクの所定のレジスタは、第 1 領域のプログラムで使用され、

第 2 レジスタバンクの所定のレジスタは、第 2 領域のプログラムで使用され、

ストップスイッチの操作によりリールを仮停止可能な所定の疑似遊技演出を実行可能とし

30

、  
内部抽せんにより所定抽せん結果が決定された或る遊技において、所定の疑似遊技演出が終了した後に、所定の表示部にてストップスイッチの有利な操作態様を報知可能とすることを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

40

本発明は、以下の解決手段によって上述の課題を解決する（カッコ書きで、対応する実施形態の構成を示す。）。

本発明は、

リール（31）を有し、

スタートスイッチ（41）を有し、

ストップスイッチ（42）を有し、

ストップスイッチの有利な操作態様を報知可能な所定の表示部（指示モニタ（獲得数表示 LED78））を有し、

第 1 レジスタバンク（図 373 中、レジスタバンク 0）と第 2 レジスタバンク（図 373 中、レジスタバンク 1）とを有し、

50

R O M 領域として、第 1 領域（図 3 7 3 中、第 1 プログラム領域、第 1 データ領域）と第 2 領域（図 3 7 3 中、第 2 プログラム領域、第 2 データ領域）とを有し、  
第 1 レジスタバンクの所定のレジスタ（たとえば A レジスタ）は、第 1 領域のプログラムで使用され、  
第 2 レジスタバンクの所定のレジスタ（たとえば A レジスタ）は、第 2 領域のプログラムで使用され、  
ストップスイッチの操作によりリールを仮停止可能な所定の疑似遊技演出を実行可能とし  
、  
内部抽せんにより所定抽せん結果が決定された（押し順ベルに当選した）或る遊技において、所定の疑似遊技演出が終了した後に、所定の表示部にてストップスイッチの有利な操作態様を報知可能とする（図 3 9 2 ）  
ことを特徴とする。

10

20

30

40

50